

## 令和4年度「市長と語り合う会」について（鎌手地区）

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和4年 5月16日（月）	鎌手公民館	19:00～20:00	6	2	8

- 市側出席者  
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

### 2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
  - ・ 会の趣旨説明
  - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

#### 1. 令和4年度施政方針「危機を機会に転じる積極思考」

##### ・脱炭素社会の実現に向けた取組

現在、地球温暖化が進行している状況の中、気候変動については、国際会議（COP）において、世界の気温上昇を産業革命前と比べて1.5度までの上昇に抑えることを努力目標にしようということが決められている。日本政府でも、温暖化の1番の原因とされている温室効果ガスの排出を抑えるゼロカーボンへの取組みがなされている。市としても、脱炭素社会、二酸化炭素を出さない取組をして行く必要があり、例えば、公共施設において二酸化炭素を出さないものにしていく等、それに適したいろいろな仕組みを作っていく。また、企業とも連携し取り組んでいくことで益田市の活路を見出していきたい。

##### ・行政サービスの効率化・最適化を図る「デジタル・トランスフォーメーション」

コロナに関連し、人と人が接しないようデジタルを使って行政サービスを図っていく、デジタル・トランスフォーメーションというものが発足され、国もそのためにいろんな支援を行っている。市としても、市民の方にとっても利便性の高い行政を創っていくよう考えている。

具体的には、例えば市役所の窓口で、今は申請書を手書きで書いていただいているが、それを職員が聞き取ってデータを入力し必要な書類を整備する等、そういったサービスに変化していくよう進めていきたい。

##### ・益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

市としてこれまで、幼稚園や保育所、それから小学校、中学校までの一貫した流れで人づくりを進めてきたが、高校から先は、県の教育委員会、あるいは国の所管の学校ということになる。

そこで、県等の所管である高校の3年間と市の所管している中学校3年間、合わせて6年間を一体のものとして、より効果的な教育を進めていこうというのが益田市型中高一貫教育である。

市内の4つの高校と連携し、中高6年間での教育の仕組みを具体化できないか協議を行っていきたい。

また、高校卒業後の進学についても、例えば島根大学や、松江工業高等専門学校といった県内の高等教育機関と連携し、高校卒業生がそこへ入学し勉強してもらった後、益田市で就職してもらうような、人材が循環するような仕組みを作っていくということも、この中高一貫教育の中の考え方として取り組んでいきたい。

##### ・交通インフラ及び都市基盤整備

益田市の交通のインフラは、島根県の東部に比べ、また全国的に見ても立ち遅れている。山陰道については、ようやく近年三隅益田道路の工事が着々と進み、令和7年度には三隅益田道路が全

線開通する計画であることが示された。まさにこの鎌手地区が、高速道路の益田の玄関口になってくるかと思うが、少しでも早く進むように要望に努めていきたい。

また、益田萩間の益田西道路についても、事業が進み一部の地域で住民説明会が開催された。益田道路についても、市内で一部開通しているが、久城から高津までの間は、本来は高架道路や橋として繋がる予定であり事業が進むよう国へ要望していきたい。

都市基盤整備としては、益田道路の南側で土地区画整理事業を今後進めていきたい。あわせて同地区に大雨災害の際の一時避難場所となるような防災公園を整備していきたい。

それには、いろいろな財源支援が必要で、また国や県の事業の推進も必要であるので、事業進捗できるように努めていく。

#### ・ワクチン接種

ワクチン接種は、感染そのものの防止が必ずしもできるわけではないが、感染の可能性を低くすること、また万が一感染した場合の重症化を防ぐ効果があるとされている。今、第6波、第7波と言われる状況になって、ウイルスの型もオミクロン株になっている。現在3回目接種を進めており、高齢者の方は約90%、全体で約60%の方が終えている。また今後の4回目接種についても、対象は60歳以上の方か、重症化しやすい基礎疾患のある方とされており、方針が決定されれば順次、市民の皆様にお知らせをしてワクチン接種を進めていきたい。

## 2. 市制施行70周年

昭和27年に、当時の町、村が合併して初めて益田市となり、今年が70周年の年になる。11月3日に70周年記念式典を開催し、記念事業や、コロナの状況が許せば祝賀会を開いてお祝いしたい。

70周年をお祝いする目的は、これまで市の発展に貢献していただいた方々への感謝の気持ちを表すことと、これからも益田市が発展していけるように市民の心を一つにして機運を高めていくことである。このように大きな節目の年であるので、市民の皆様と一緒に、それらを一つにするような年にしたいと考えている。

また、今年度開催される市や民間の事業についても、この趣旨に賛同いただける主催者の方については、益田市制施行70周年記念事業という名称をつけて事業を行っていただくということにもしている。

### ○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 国道の整備について
- ② 柿本人麻呂について
- ③ 地域振興について
- ④ 高島について
- ⑤ 住宅の建設について
- ⑥ 活性化対策について
- ⑦ 水仙公園の整備について
- ⑧ 観光振興について
- ⑨ 朝市について
- ⑩ 道の駅について
- ⑪ 海岸漂着物について

### ○ 閉会（秘書課長）

## 令和4年度「市長と語り合う会」

〔会場 鎌手公民館 開催日時：令和4年5月16日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 国道の整備について 小浜地区の国道9号改良工事の完成時期はいつ頃になるのか。</p>	<p>① 完成時期については、現在把握していないので、後日公民館を通して回答する。当区間については、現在、拡幅し安全性を高める工事を行っている。工事に伴い住民の皆様にはご迷惑をおかけするが、早期に工事が完成するよう引き続き国に要望を行っていく。</p>
<p>② 柿本人麻呂について 来年は、柿本人麻呂没後1300年となるが、市として何か考えていることはあるのか。</p>	<p>② 柿本人麻呂公顕彰委員会という組織で、いろいろな事業を検討されていることから、市も支援等協力して盛大に盛り上げていきたい。さらには国内と国外を絡めて発信できるようなことが出来ないか、そういうことも視野に入れて顕彰委員会とも協議をしていきたい。</p>
<p>③ 地域振興について 鎌手地区は、益田市の東の玄関口で駅もあり便利な所である。今後、さらに三隅益田道路のインターチェンジができるにあたり、市として何か考えはあるのか。</p>	<p>③ 鎌手地区は、水仙の里として地域で重点的に取り組まれており、そういった住民の皆様が取り組まれていることに協力していきたい。また、中学校の統合により、旧鎌手中学校の施設が活用されていない状況である。避難所としての利用も必要であるが、地域として提案等あれば検討したい。</p>
<p>④ 高島について 高島について、観光等で活用するような考えはないか。</p>	<p>④ 観光等に活用できればいいと思うが、元々の島民の方や所有者の賛同が得られないと伺っているので難しい。</p>
<p>⑤ 住宅の建設について 鎌手地区は、インターチェンジも建設予定で交通の拠点となる。また近隣に三隅火力発電所もあることから、住宅の建設等の考えはないか。</p>	<p>⑤ 今住宅の建築の予定はない。</p>
<p>⑥ 活性化対策について 鎌手地区の水仙部会も高齢化が進み人数も半減している。水仙公園に駐車している車も、釣り客が多くそのまま帰ってしまう。市の花でもあるので何か活性化するような対策はないか。</p>	<p>⑥ 人の流れが市外から来ていただいているので、いかに地元にお金を落としてもらえるか、例えば食事をして頂くとか、お土産を買って頂く等、お金が地元へ循環するような仕組みを一緒に考えていきたい。</p>
<p>⑦ 水仙公園の整備について 水仙公園は、毎年沢山の方が来られるが、整ったトイレも無く、電気も水道の無くおもてなしができていない。地域の方が集うような場所と併設して、施設の整備を検討してほしい。また、市内の冬の観光地としては、唐音が1番と思うので、力を入れて取り組んでほしい。</p>	<p>⑦ 施設の整備については、すぐには対応できないが、ご意見として伺う。観光については、鎌手だけでなく市内を周遊し飲食や宿泊していただくような仕組みの中で、観光協会等関係機関と連携し知恵を絞って取り組んでいきたい。</p>

⑧ 観光振興について  
地区の温泉旅館を利用した滞在型の観光等、地域でも知恵を出し合うので、市も協力してほしい。

⑨ 朝市について  
以前益田駅の西側に、朝市のように店が集中しそこに行けば何でも買えるような通りがあったが、そういったものを企画することはできないか。

⑩ 道の駅について  
道の駅の構想はあるのか。

⑪ 海岸漂着物について  
昨年、大雨により海岸沿いに瓦礫が漂着した。土田海岸は市の管理で早く処理していただいたが、その東側は県の管理ということで、なかなか処理されなかったため、ボランティアで処分したが、今後同様のことがあった場合、早急に対応してほしい。

⑧ 国道9号を利用した、浜田方面から高津の大型商業施設への買物客等の人の流れはあるので、鎌手地区に止まっていただけるような事ができないかと思っている。また、三隅益田道路のインターチェンジもできるので今後協議していきたい。

⑨ 民間が整備するにしても、市が補助するにしても、採算がとれるのかということになってくる。見通しが見つからないとできない。

⑩ 基本構想は作成したが、先ほどお話した防災公園を整備した後、将来的に道の駅につながるようであれば、検討していく。

⑪ 県へお伝えする。